

シンポジウム

日本語語彙辞書を利用した 新たな研究

日時：2021年11月13日（土） 12:00 - 17:00

オンライン開催（Zoom）、参加費無料 **先着80名**



● 基調講演 12:00-13:00

「リーディング・チュウ太の現状と課題」

川村よし子 (元東京国際大学)

● 発表1 13:10-13:40

「日本語学習者によるアカデミック・ライティングのための使用語彙調査
-名詞を対象として」

守時なぎさ (リュブリャーナ大学)

● 発表2 13:40-14:10

「発話機能から見た適切な日本語の数値化への試案」

小野正樹 (筑波大学)・日暮康晴 (筑波大学大学院生)

山下悠貴乃 (十文字学園女子大学)・朱炫姝 (目白大学)・伊藤秀明 (筑波大学)

● 発表3 14:20-14:50

「日本語学習デジタルリソースのコストパフォーマンスについての検討」

伊藤秀明 (筑波大学)・山田智久 (西南学院大学)

● 発表4 14:50-15:20

「小学校の説明的読み物の語彙」

矢澤真人 (筑波大学)・古谷梨菜 (筑波大学大学院生)

● 発表5 15:20-15:50

「国語教育における難易度研究の活用」

橋本修 (筑波大学)

● 全体質疑 16:00-17:00 進行：文昶允 (筑波大学)・波多野博顕 (筑波大学)



参加申込QR

参加申込：<https://forms.gle/aPGwUGQDkueGHqhL7>

参加申込締切日：2021年11月7日（日）

参加申込をされた方には11月11日までにzoomのURLを送付いたします。

主催：筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語・日本事情遠隔教育拠点

共催：筑波大学ICR、JSPSアジア・アフリカ研究拠点「社会的要請に対応可能な日本語教師養成の拠点形成」、筑波大学近未来型日本語アシストシステム構築プロジェクト、筑波大学リサーチグループ「言語研究の実践的応用」、筑波大学リサーチユニット「語彙研究と国語辞書研究の相互活性化」、基盤研究(B) 21H00534「CEFRの文脈化と日本語・日本語教育研究への応用」、基盤研究(C)20K00718「ICT活用授業の教育効果測定に関する総合的研究～連関モデル構築の試み～」、筑波大学人文・文化学群

お問い合わせ

日本語・日本事情遠隔教育拠点
jp-kyoten@un.tsukuba.ac.jp